

改正後	改正前
<p>(特別教育を必要とする業務)</p> <p>第三十六条 法第五十九条第三項の厚生労働省令で定める危険又は有害な業務は、次のとおりとする。</p> <p>一〜二十七 (略)</p> <p>二十八 エックス線装置又はガンマ線照射装置を取り扱う業務(装置の内部にのみ管理区域(電離放射線障害防止規則(昭和四十七年労働省令第四十一号。以下「電離則」という。))第三條第一項に規定する管理区域をいう。次号及び第二十八号の三において同じ。))が存在し、かつ、エックス線又はガンマ線の照射中に労働者の身体の一部がその内部に入ることのないように遮へいされた構造を備えた装置を使用する業務を除く。)</p> <p>二十八の二 加工施設(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律(昭和三十二年法律第六十六号)第十三條第二項第二号に規定する加工施設をいう。)、再処理施設(同法第四十四條第二項第二号に規定する再処理施設をいう。))又は使用施設等(同法第五十二条第二項第十号に規定する使用施設等(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令(昭和三十二年政令第三百二十四号)第四十一条に規定する核燃料物質の使用施設等に限る。))をいう。))の管理区域内において核燃料物質(原子力基本法(昭和三十年法律第八十六号)第三條第二号に規定する核燃料物質をいう。次号において同じ。))若しくは使用済燃料(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第二條第十項に規定する使用済燃料をいう。次号において同じ。))又はこれらによつて汚染された物(原子核分裂生成物を含む。次号において同じ。))を取り扱う業務</p>	<p>(特別教育を必要とする業務)</p> <p>第三十六条 法第五十九条第三項の厚生労働省令で定める危険又は有害な業務は、次のとおりとする。</p> <p>一〜二十七 (略)</p> <p>二十八 エックス線装置又はガンマ線照射装置を用いて行う透過写真の撮影の業務</p> <p>二十八の二 加工施設(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律(昭和三十二年法律第六十六号)第十三條第二項第二号に規定する加工施設をいう。)、再処理施設(同法第四十四條第二項第二号に規定する再処理施設をいう。))又は使用施設等(同法第五十二条第二項第十号に規定する使用施設等(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律施行令(昭和三十二年政令第三百二十四号)第四十一条に規定する核燃料物質の使用施設等に限る。))をいう。))の管理区域(電離放射線障害防止規則(昭和四十七年労働省令第四十一号。以下「電離則」という。))第三條第一項に規定する管理区域をいう。次号において同じ。))内において核燃料物質(原子力基本法(昭和三十年法律第八十六号)第三條第二号に規定する核燃料物質をいう。次号において同じ。))若しくは使用済燃料(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第二條第十項に規定する使用済燃料をいう。次号において同じ。))</p>

二十八の三、四十一  
(略)

又はこれらによつて汚染された物（原子核分裂生成物を含む。  
次号において同じ。）を取り扱う業務  
二十八の三、四十一  
(略)